

年 組 名前:

問1

甲府市の市民団体と織物業者が、共同で開発した

「フェーズフリー風呂敷」は、物を包む以外に、
どのようなことに利用できますか。

.....

問2

次の文章の①から⑤に当てはまる言葉や数字を、

答えてください。

『記事の風呂敷のサイズは、①センチ四方で、

②がイラストで描かれている。

③に使う素材を使用しており、④をはじくため、

物を包むだけでなく、⑤や防寒具、包帯などにも

使うことができる』

① ② ③

④ ⑤



フェーズフリー風呂敷

風呂敷「もしも」に役立てて

甲府市の市民団体「リズムオブラ
ブ」(渡辺光美主宰)は織物業の横
田商店(西桂町)と共同で、防災グ
ッズとしても使用できる「フェーズ
フリー風呂敷」を作った。物を包む
など従来の使い方に加え、雨具、防
寒具としても利用できる。
「フェーズフリー」は日常と災害時
の垣根をなくす新しい防災の概念
で、「いつも」使う施設や商品を「もし
も」の時も役立てようとする取り組

甲府の市民団体制作

み。風呂敷は、県共同募金会が実施し
た、寄付者が寄付先の団体を選べる
「テーマ募金」を原資に制作した。
サイズは70センチ四方で、使用方法が
イラストで描かれている。傘に使う
素材を使用しており、水をはじくた
め、物を包むだけでなく、かっぱや
防寒具、包帯などにも使うことがで
きるという。
約200枚を作り、募金の寄付者
に贈呈する。渡辺さんは「かばんの
中に入れて持ち歩き、もしもの時は
さまざまなおことに活用してほしい」
と話している。
(土屋圭佑)

(2022年8月30日付 山梨日日新聞 13面)

問3

普段使っている物で、災害時に役立ちそうだと思う物を考えてください。

品物:

理由:

.....